

# あさなぎ通信

～心豊かに しなやかで 進んで学ぶ子どもの育成～

浅子小中学校だより

No.20

令和6年9月10日(火)

文責：木下智美

## 明日から野外宿泊学習 後期課程 9/11～9/13、前期課程 9/12～9/13

明日から後期課程、12日から前期課程が「青少年の天地」にて宿泊学習を行います。

自然を活用した学びは教育効果が高く、学校教育の中でも自然体験活動が重要視されています。

自然の美しさや雄大さを感じながら、社会を生き抜くための基礎的な能力を伸ばせるのが野外活動の魅力です。オリエンテーリングや飯盒炊さんなど、日頃の学校生活では体験できないことをしますので、役割分担が必要です。協力し合う中で自然と会話が増えるので、協調性やコミュニケーション能力が磨かれます。野外活動ならではのさまざまな課題にぶつかりながら、問題を解決していく活動をとおり、また一回り成長する姿を楽しみにしています。

### (主な活動)

	9/11 (水)	9/12 (木)	9/13 (金)
午前	シーカヤック体験→昼食 (小佐々海洋基地)	オリエンテーリング	(世知原へ移動) 沢登り
午後	(烏帽子へ移動) レクリエーション	飯盒炊さん ※カレーライス	14:20 学校着
(夜)	星空観察		

### 後期課程 実力テストが終わりました・・・

子どもたちとの会話の中で、テストの点数も話題になります。9年生は今回業者テストでしたので、いつもより苦戦した様子でした。やり直しをしながら「何を間違えたのか」「どこまで理解していたか」「問題そのものを正しく理解したか」、丁寧に考えてほしいと思います。学習は人によっても目的が違いますが、大きな目的の一つは「人のために働く力をつける」ことでしょう。勉強によって知識や技術を得れば、人の役に立つための力が身につきます。新しいものを開発したり、勉強を教えたりと多くの人の役に立てるでしょう。また、人の役に立つことで喜びを感じられ、自分自身の心が満たされます。とは言っても、目先の苦しさがつらいですね。

### 子どもの嘘について

前期・後期かかわらず、夏休みが終わる前から、子どもたちがつく嘘が話題になっています。内容はいずれも自分から「すみません、気を付けます」で済む程度です。しかし、嘘を言ったことで、その嘘を隠すためにさらに嘘をついてしまう。なぜ、先に謝れないのか。子どもの嘘は、研究によると2歳過ぎ、言葉が言えるようになり会話が始まる頃から出ると言われています。嘘は悪気ではなく、「損をしたくない」、「いやなことから逃げたい」という自己防衛の気持ちといえます。

学校では「嘘で得をしてしまう」ことを積み重ねないことが大切と考え、内容の軽重かかわらず嘘を慢性化させないように、子どもたちの状態について職員間で話し合いながら指導をしています。「自分がこんなことされたらどう思う?」「人の立場に立って同じことをされたらどう思う?」これはまだ他者の目線をもっていない、低学年の子どもにとっては難しい言葉でもあります。指導が子どもたちに伝わるよう、「何が正しいのか」をしっかりと伝えたいと思うこの頃です。